



柿添病院

どこでどのような医療を行うとしても大切なことを学ぶことができた1ヶ月でした。まずさまざまな科の疾患をもった患者さんの病棟管理を通じて、臓器専門によらず基本的な知識や技術を身につけることの必要性を実感しました。また病院内外での様々な経験、そして平戸での生活や観光を通して、平戸という土地の良さを知り、その地域の医療を支えているという意識を持つことの必要性を実感しました。そして先生たちの医療に取り組む姿を見て、情熱と思いやりをもって医療を学び実践していこうと強く思いました。柿添病院のスタッフの方を始め、平戸で出会った方たちのおかげで楽しく充実した1ヶ月を送ることができました。平戸で学んだことをこれからの研修に活かし、がんばります。

古賀祐樹(九州中央病院) 田中大智(九州医療センター)
森利枝(静岡済生会総合病院)

生月病院

生月病院の人々をはじめ、平戸、生月島の人達に助けられながら過ごした1ヶ月でした。先生方に丁寧に指導していただき、またコメディカルスタッフの方々とも貴重なお話をすることができ、限られた医療資源の中での地域医療の難しさ、大切さを、患者さんとの出会いの中で肌で感じるすることができました。また、往診、施設訪問、健診、予防接種など、普段の研修では経験することのなかったようなことに関わることができました。救急隊との連携についても、救急医療懇話会にも出席させていただき、限られた救急資源をどう活用していくか等について身近なものとして感じるすることができました。とても充実した1ヶ月間でした。ありがとうございました。

金淵勇樹(北里大学病院) 関光里(東京大学病院)

平戸市民病院

極寒の12月は男3人という暑苦しいメンバーで研修させていただきました。健診、訪問診療・看護・リハビリといった予防に特化した地域医療に加え、検査部実習、放射線科実習など他職種の業務を体験する機会も設けていただき、非常に有意義な1か月間を過ごすことができました。元気老人を創ろうというコンセプトのもと行われてきた様々な取り組みを学び、日々出会う平戸のいわゆる元気老人たちからその成果を実感しました。平戸の医療は今後より一層高齢化が進む日本において模範となる地域医療であり、それを参考にすると同時に、変化に流動的に対応できる姿勢を持つ重要性も学びました。また、この平戸の地で医療スタッフの方々、患者さん、他病院の研修医など多くの出会いに恵まれ、今後生きる知識、経験を得ることができました。ありがとうございました。

大島康宏(北里大学病院) 中村祐太(長崎大学病院)
山本謙(横浜労災病院)

